

建材コレクション

特集社

東京都千代田区内神田3-2-4 テイトビル 〒101-0047
電話 03(3256)3266(代表) FAX 03(3256)3264
購読料(前納) 1ヵ年73,500円 / <http://www.tokushusha.co.jp>
e-mail root@tokushusha.co.jp

—CONTENTS—

平成24年1月15日発行

第2424号

- 現況 既存木造住宅勾配屋根を屋上庭園にする事業 2
特集 ウインドウフィルム／断熱ガラスコートの現況 3

☆フィルムは2011年夏は前年同期3～7倍の伸び

☆コート剤は2011年から需要は過熱状態

☆省エネ、エコの波に乗る

- 建材・住設ニュース..... 18

ダイケン、住生活グループ、ニチベイ、三和タジマ、文化シャッター、
LIXIL、日本金属サイディング工業会、建産協、四国化成、
24時間風呂協議会、町田ひろ子アカデミー

フレッシュ・ジャンプ商品

- 日本インシュレーションの「タイカライトウッド」..... 29

- 建築着工統計推移グラフ（住宅着工計）..... 30

まるごとワンストップソリューションへ。

トステム、INAX、新日軽、サンウエーブ、TOEXは、それぞれの製品とサービスを集結。お客さまのビジネスを拓げる幅広いラインナップと総合的なソリューションで、皆さまのビジネスを力強く支えます。

株式会社 LIXIL <http://www.lixil.co.jp/>

LIXIL
Link to Good Living

現況

既存木造住宅勾配屋根を屋上庭園にする事業

屋上緑化、外断熱の販売・施工を手がける東邦レオ(大阪市)が、今年2月から既存木造住宅の勾配屋根を陸屋根に改修し屋上庭園に造り変える事業にのり出す。

「プラスワンリビングリフォーム」として、2012年度に1,000棟、売り上げ20億円を目指すという。


同社は2010年11月から新築住宅の陸屋根に屋上庭園を導入する「プラスワンリビング」を事業化し、1年間で350棟、3.5億円の売り上げを実現した。ハウビルダー・工務店110社以上とパートナー契約し工事を行った。

また、同社は1999年からRC住宅や集合住宅のルーフバルコニーの屋上庭園事業を行っており、昨年末で累計約600件、1ヘクタール以上の屋上庭園を手掛けてきた。

2月から発売する「プラスワンリビングリフォーム」は今後、成長性の高いリフォーム市場を視野に、既存木造住宅の勾配屋根をターゲットにした。

「既存の住宅(勾配屋根)でも施工できないか?」との問い合わせが多くあったこともあって事業化した。「プラスワンリビングリフォーム」では、既存住宅において防水、植栽、舗装、水栓、自動水やりシステムを含む材料・工事費を含む金額(20万円/坪)で、屋根瓦改修(20万円/坪)の市場へ参入する。10年保証の屋上緑化専用防水(金属防水)を採用、平均3週間のスピード施工をする。

勾配屋根を陸屋根の屋上庭園に変える事業が始まったわけで、もはやバーチャル映像の世界ではなくなった。



セトキの
さわやか目かくし **新登場**
〔PCⅡ型〕

- ◆ポリカーボネイト製の中空構造パネルを採用。
- ◆明るくて、見えにくいタフな素材。
- カラー〔パネル〕ホワイト・ブラック [サッシ枠] ホワイト・ブロンズ・ブラック

■経済性に優れた特殊強化プラスチックを採用の…… **大好評** **〔Dタイプ〕** **セトキ販売**

ウインドウフィルム／断熱ガラスコートの現況

2011年から急増していた節電対策としての遮熱・断熱用ウインドウフィルム、ガラスコート(剤)は、2012年中も過熱状態が続くものとみられる。2011年のウインドウフィルムは「引き合いが急増した。昨年の夏はフィルムを貼る職人が不足した」(住友スリーエム)。「非常に伸びた。急激な需要増で一時的に供給が追いつかない状況となった」(リンテック)。リンテックは「官公庁・商業施設など向けについての2011年4～10月の売り上げは、ガラス飛散防止用途では対前年同月比約1.2倍、断熱用途で約3.2倍」といった状況であった。

断熱ガラスコート(剤)も業界最大手のスケッチ(東京都)では、2011年6～8月の3カ月だけで、2010年の業界全出荷量の50%に相当する12万m²を受注したという。ウインドウフィルムの設計価格(材工)は10,000～15,000円/m²、断熱ガラスコートの設計価格(材工)は8,000～10,000円/m²。実勢価格(別項のとおり)はともあれ、両者競合しているが、価格的にはガラスコートの方が分がいい。

これまで、ウインドウフィルムは、ガラスの飛散防止、日射調整、防犯対策として、ガラスコート剤は地球温暖化対応のエコ商材として、需要は年によって増減しながらも、トレンドは伸びる方向性にあった。ところが福島原発事故にともなう節電意識の高まりで需要がブレイクした。

2012年度以降も数年間は需要の過熱状態が続くであろう。

ウインドウフィルムは市場に出てから40年以上経っているが、コーティング剤は5年程度の施工実績しかない。市場規模においては下記のとおり比較の対象にならない。遮熱・断熱性能では、ウインドウフィルムは「反射型」であり、コーティング剤は「吸収型」である。共通しているのは現在、節電需要でブレイクしていることだけである。

冬こそ内窓です。この冬を暖かく、快適で、健康的に。


三協立山アルミ
□エコは窓から、窓から断熱。□

今ある窓につけるだけ。

今ある窓



内窓



フレーム
PLAMAKE
EXCELLENT

後付樹脂内窓

お客様相談室 ☎ 0120-53-7899

●受付時間/月～金曜日 9:00～12:00/13:00～17:00
(祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

三協立山アルミ株式会社
本社/〒933-8610 富山県高岡市早川70 TEL0766-20-2251 <http://www.sankyotateyama-al.co.jp/>
関東住宅建材支店/TEL03-5348-0801 東海住宅建材支店/TEL052-701-0921 関西住宅建材支店/TEL06-6916-0203

【市場規模】(2011年度/推定)

◎ウインドウフィルム

出荷量	1,600万m ²
売上金額	560億円(材のみ)

◎ガラスコート

出荷量	25万m ²
売上金額	27.5億円(材工)

※①ウインドウフィルムの業界売上金額は出荷量に実勢の製品上代価格(3,500円/m²)を掛けたものである。メーカー仕切価格(推定1,600円/m²)ベースの市場規模は256億円とみられる。②ガラスコートの業界売上金額は出荷量に設計価格11,000円/m²(材工)を掛けたものである。実勢価格ベースの売上金額はもっと少ない。

メーカーシェア(特集社推定)

◎ウインドウフィルム

住友スリーエム	46%
リンテック	37%
その他(輸入品含む)	17%

◎ガラスコーティング(剤)

スケッチ	60%
フォーユー	23%
その他	17%

※ガラスコーティング剤の発売元は、東日本大震災以降OEMを含め20社以上の新規参入がある。その中で目立つところは、石原産業(10年発売)、日本特殊塗料(11年発売)、アスクリン、大光テクニカルなどである。


ウインドウフィルムの現状

ウインドウフィルムで、現在市場性のある商品を販売しているのは、住友スリーエム、

アルミニウムカムパネル

より軽く、より強く、そして美しさを求めて……。

受け継がれてきたハニカムの技術をさらに進化し、減圧接着製法による高密度強制接着を具現化しました。
(特許 第4022578号)



株式会社フジカケプランニング

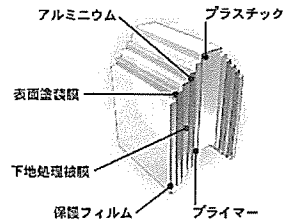
本社：〒136-0071 東京都江東区亀戸2-31-10コクブ亀戸ビル
TEL 03-5627-3681 FAX 03-5627-3680

群馬工場：〒370-0615 群馬県邑楽郡邑楽町大字篠塚660 (アルミニウム建築構造協議会認定工場)
TEL 0276-88-9328 FAX 0276-88-9332

積水樹脂プラメタル株式会社

[製品紹介]

アルミニウムとプラスチックのサンドイッチ構造の複合板は、軽量性・剛性・耐久性・加工性にすぐれ、表面の高耐候性樹脂焼付け塗装により、耐食性・耐候性を兼ね備えた幅広い用途に使用できる新素材です。



製造部門では標準規格品を製造する事は勿論、オーダーメイドの各種加工を手掛け、常に安定した高品質な製品をお届けしています。特に他社との差別化として、アルミを自社塗装ラインで対応することにより、小ロットでの特注色対応が可能、又、カット・パンチング加工等も自社設備にて行なうことにより、スピーディな対応が図れております。

1. 製品インデックス

プラメタルPA (3mm, 4mm)
国土交通省 難燃材料認定品 ポリエステル系樹脂焼付け塗装
バルコニーなど目隠板、内装壁・天井、間仕切り、ディスプレイ
パンチング材:バルコニーなど目隠板、展示用パーテーション 他

プラメタルED (3mm, 4mm)
国土交通省 難燃材料認定品 帯電防止塗装
クリーンルーム内装・天井材、半導体装置外装板、キャビネット等

プラメタルEDFR302 (3mm)
プラメタルEDFR405 (4mm)
国土交通省 不燃材料認定品 帯電防止塗装
クリーンルーム内装・天井材、半導体装置外装板、キャビネット等

プラメタルFR302 (3mm)
国土交通省 不燃材料認定品 ポリエステル系樹脂焼付け塗装
内装壁・天井、間仕切り 他

プラメタルFRW405 (4mm)
国土交通省 不燃材料認定品 外装用 フッ素樹脂焼付け塗装

プラメタルFRC405 (4mm)
国土交通省 不燃材料認定品
天井用ポリエステル系樹脂焼付け塗装

ハイエースバン (3mm, 4mm)
国土交通省 難燃材料認定品 ポリエステル系樹脂焼付け塗装
アルミとPE発泡芯材の複合材 框ドア・手摺の腰パネル 他

ハイエースバンDP (12mm, 18mm)
高発泡スチロール芯材と両面アルミ樹脂積層複合板の複合材
排煙窓の代替・窓用欄間、FIX窓、複層ガラス用ドア面材 他

アートパネル (1.5mm, 2mm, 3mm, 4mm, 5mm)
国土交通省 難燃材料認定品 ポリエステル系樹脂焼付け塗装
アルミとPE発泡芯材の複合材 サイン・看板用素材

2. 事業所

本社・工場
〒399-0601 長野県上伊那郡辰野町小野 795-1
TEL: 0266-46-3100 FAX: 0266-46-3104

東京営業所
〒101-0047 東京都千代田区内神田2-3-9 MECビル
TEL: 03-3252-4500 FAX: 03-3252-4511

大阪営業所
〒530-8565 大阪市北区西天満2-4-4 堂島関電ビル6階
TEL: 06-6365-0371 FAX: 06-6365-7875

名古屋営業所
〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-20-25 丸の内STビル9階
TEL: 052-229-1915 FAX: 052-229-1933

更に詳しい内容や資料請求は…
ホームページをリニューアルしましたのでご覧下さい。
<http://www.plametal.co.jp>
もしくは最寄の営業所までご連絡下さい。

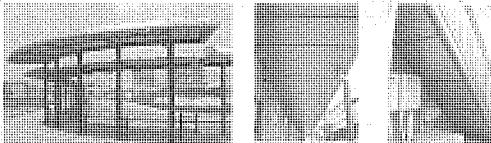
手摺パネル(PA・FR) 目隠パネル(PAパンチング)



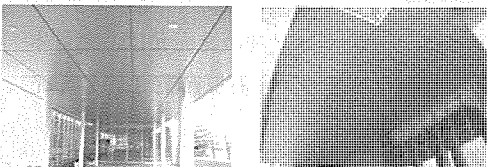
階段手摺パンチングパネル(PA)



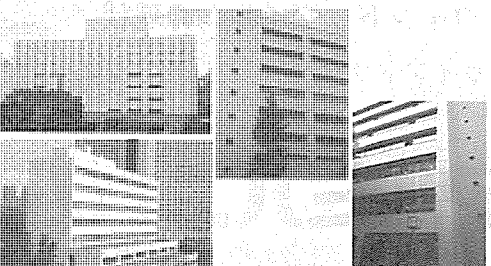
シエルト (PA・FR) 廊下・外階段軒天(PA)



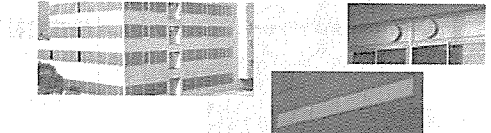
エントランス軒天(FRW405)・天井(FRW405)



外装パネル(FRW405)



排煙窓・窓用欄間(ハイエースバンDP)



リンテック、リケンテクノスのみである。1970年代初めに市場投入され、すでに40年前後の実績があり、その間、切磋琢磨して現行商品を実現した。ウインドウフィルムは欧米に以前からあって、欧州ではテロ対策、米国ではハリケーン対策として開発された。

施工面でも業界団体、日本ウインドウ・フィルム工業会を設立し、厚生労働大臣指定試験機関の指定を受け、02年から毎年「ガラス用フィルム技能士(1級・2級)」を輩出してきた。

しかし、昨年の夏は需要急増により、技能士および技能士の指導下にある職人が払底し、工期遅れが散見された。

ウインドウフィルムの使用目的は、飛散防止(地震・台風・暴風対策)、日射調整(遮熱・防虫等)、防犯対策の3点であるが、2010年までの出荷構成比(推定)は、

飛散防止	50%
日射調整	47%
防犯対策	3%

であったが、2011年度に入ってから、節電対策の日射調整の需要が大きくなっている。そして、今後は上記の使用目的別出荷比率は無意味なものになるであろう。

高透明／高遮熱／飛散防止の複合タイプ移行へ

直近では1枚のフィルムで高透明・飛散防止・高遮熱の3機能を備えた、複合／付加価値タイプの販売が始められている。

メーカーの機種別、差別的な商品バリエーションは存在しているが、技術の進歩によって高透明・高遮熱・飛散防止の3機能を備えた新タイプ商品が主流になってきた。

新タイプの商品は特に透明度の向上が顕著で、従来タイプよりコスト高であるが、高断熱性を兼ね備えている。高透明タイプの施工後は、「ガラスそのものの透明度」で、すでに市場で認知されつつある。

スモーク、シルバーなど色付きは元来、透明タイプに比べ紫外線カット効果に優れていることから、遮熱・断熱用として使用されていたが、近年、透明タイプの遮熱・断熱性向上にともない、メーカーの商品バリエーションとして存在しているものの、実需は省エネのみを指向する工場など一部に限られてきた。オフィスビル、商業施設でもスタンダードの用途では色付きは好まれていない。

高透明タイプは、前述のとおり高透明・遮熱・断熱性能に加え、飛散防止機能も備えている。2006年頃、東京・日本橋のオフィスビルに大手メーカーの高透明タイプが施工

されたケースでは、今回の3・11地震においてガラスの割れは皆無であったという。

防犯フィルム専門の発売元は、2000年前後に急増したが、近年「防犯」テーマが薄らいできて、もともと市場が小さいこともあって中小は事業として成立せず、ほとんどの業者が撤退したり、販売の主体を需要の安定した日射調整フィルムの販売へ切り替えたりしている。

戸建て住宅向けの防犯フィルムのリフォームは進展していない。戸建て住宅の3mm厚の窓ガラスは作業中に割れたりし、居住者の防犯フィルムに対する無関心もあって商談が進まない。

元来、3mmの板ガラスに防犯フィルムを貼っても効果がないとの見方もある。大手メーカーはラインナップの中に「防犯対策」を用意しているだけだ。

文化シャッターは、ドイツ・ハーファカンブ社の防犯フィルムの日本総代理店契約を結び、「強常貼（ごうじょっぱり）」の商品名で販売している。厚さ360ミクロンのポリエチレンテレフタレート膜3層構造と強力な特殊接着剤を使用していることにより、優れた耐貫通性、耐衝撃性を発揮する。

防犯対策フィルムは各製品共ガラス間口部全面に施工することで、破りにくくしてあ

り、ガラス開口部の破壊、貫通を大幅に遅らせることに意義がある。

ウインドウフィルムの耐用年数は約10年とされ、10年経ったら貼り替えするのが一般的なパターンとなった。

ウインドウフィルムは概ねリフォーム（既築用）80%、新築20%の比率（推定）で使用されている。施工業者が活躍する場面はリフォームで、フィルム施工店、内装業者がゼネコン・工務店をとりまく形で市場が動いているが、大型物件は施工業者が獲得に集中するので、受注単価が大幅に下がっている。

新築用は、板硝子メーカーが直系下請業者にフィルムを貼らせて出荷している。

2011年は節電意識の高まりで、4月以降ウインドウフィルム需要が急上昇し、夏場にピークを迎えた。メーカー出荷も前年同期比数倍の伸びとなったが、フィルムを貼る職人が不足して、工事の遅れや、工事を断念する現象もあった。

ウインドウフィルムの業界団体、日本ウインドウ・フィルム工業会では、厚生労働大臣指定機関として、「建築フィルム作業1、2級」の技能検定を毎年前期、後期に分けて実施している。平成22年度前期の1、2級合格者は116人と少ない。有資格者は必要にせまられる物件に施工を望まれ、施工賃金も値くずれしていない。ほとんどの建築現場では無資格者が施工しているが、昨年夏は一般のウインドウフィルム職人の不足が顕在化した。

大手メーカーがこのほど新しい粘着剤を採用し、施工者がよりスピーディに施工できる新製品を出したことで、従来品より貼りやすくなったことからウインドウフィルムの専門職人でなくても貼ることが可能になった。例えば、クロス職人やマーキングフィルムの職人でも十分対応できるようになり、ウインドウフィルム職人不足に寄与し、市場も拡大していくであろう。

もっとも、昨年夏の専門職人不足は季節要因で、すでに鎮静化している。

住友スリーエムの「ロータックタイプ」

住友スリーエムはウインドウフィルムにおいて、遮熱、断熱、飛散防止、防犯等あらゆるニーズに対応する機能、仕様をクリアし、「3Mスコッチテイントウインドウフィルム」の総ラインナップは約50アイテムにのぼり、ブランド展開を加速している。開発メーカーとして、トップシェアを維持してきた。

2011年10月に発売した「ロータックタイプ」は、新しい粘着剤を採用し、従来品より施工性を改善、よりスピーディな施工を可能にした。新しい粘着剤は、施工性を向上

自動ドア利用者の安全・安心の向上

自動ドア安全ガイドライン※

〈スライド式自動ドア編〉

スライド式自動ドアは長年の実績から安全性の高いドアと評価されております。**これからも安全であり続けるために**、自動ドア製造者や設置施工者はもとより玄関廻りの設計から建物の管理まで、それぞれの関係者にご配慮いただきたい事項をまとめた『自動ドア安全ガイドライン』を自主制定、関係方面のご理解のもとに、**2006年4月1日以降施工の自動ドアに適用を開始**しております。自動ドア利用者の安全のために関係者各位のご理解とご協力をお願い致します。

(※全国自動ドア協会が制定し会員企業および関係者の理解と協力によって実施されるものです)

自動ドア安全ガイドラインの要約版『安全ガイドブック』は全国自動ドア協会ホームページでもご覧いただけます

JADA 全国自動ドア協会
Japan Automatic Door Association

〒105-0022 東京都港区海岸1丁目9番18号

ホームページ

<http://jada-info.jp>

するために粘着面のねばつきを抑え、初期接着力を抑えた。このため、施工者がよりスピーディーに施工することができるようになった。貼り付け後は、時間と共に従来製品同等の接着力を発揮する。また、透明度の高い粘着剤が均一に塗布されているので、貼付してもガラス本体の透明性は損なわず、紫外線も 99% 以上カットする。

施工上のメリットは、フィルムカットは「軽くスムーズ」であり、二次圧着後において、点検時、「小さいゴミをみつけても、剥がすことができる」などで、トータルな施工生産性の向上を実現した。

「ロータックタイプ」シリーズでは、ガラス飛散防止、高い透明性、高遮熱性を付加した新製品が 2011 年 10 月に発売された。「ロータックタイプ」の設計価格（材工、税別）は、16,000～18,000 円/m²。

断熱／ガラス飛散対策新製品：リントック

リントックは、ウインドウフィルム市場を住友スリーエムとほぼ 2 分しており、家庭でも手軽に貼る事の出来る各種フィルムを、グループ会社の「リントックコマース」がネットなどを通じて販売すると同時に、商業施設や官公庁などに向けて、全国の施工店ネットワークを通じてウインドウフィルムの責任施工を展開している。2011 年は一般住

宅でのフィルム需要が急増した。「リントックコマース」が手掛ける、ホームセンターなど向けのウインドウフィルムの売り上げはガラス飛散防止用途では、対前年同期比で約 7.6 倍、断熱用途でも同約 2.6 倍に達した模様だ。

同社は需要増大に対応し、昨年ウインドウフィルムの主力ブランド「ルミクール」などのラインアップを大幅に改編した。新製品および改良品を 2011 年 6 月に全国発売した。グリーン購入法適合品を中心に、ガラス用断熱フィルムのラインアップ強化を目的として、「ヒートカット HCN-70G」、「レフテル ZC06T」、「サンマイルドオプトロン eco クリアブルー」を発売した。また、フィルム厚 25μm のウインドウフィルム 10 品種を全て 50μm とし、ガラス飛散防止性能を向上させた。

「ヒートカット HCN-70G」は断熱性を向上させ、グリーン購入法で定められた熱貫流率の基準をクリアした吸収タイプ。「レフテル ZC06T」は、グリーン購入法適合品で、透明性をさらに向上させた反射タイプ新アイテム。「サンマイルドオプトロン eco クリアブルー」は、防虫フィルムに断熱性能をプラスした新アイテムである。

断熱ガラスコート（剤）の現状

断熱ガラスコート（剤）が本格的に市場に出たのは 2006 年頃からで、40 年以上の実績のあるウインドウフィルムに比べると歴史は浅いが、東日本大震災以降、発売元は 20 社以上に増えた。もっともほとんどは OEM の施工業者で断熱ガラスコート剤のメーカーは数社に過ぎない。

遮熱ガラスコート剤の開発経緯については最大手のスケッチ（東京都）の営業用資料「窓ガラス遮熱製品比較表」の中で次のように記している。

遮熱ガラスコーティング剤は、今から 10 年以上前、日本大手電話会社 NTT の関連会社 NTT-AT が、四方窓ガラス張りの TELBOX が、夏場異常に暑いとのユーザークレームに対し、住友金属鉱山と元当社役員に開発依頼し完成させた世界で唯一の常温硬化型遮熱ガラスコーティング剤です。
当初、夏場の暑さ対策を目的に、ルテニウム（住友金属鉱山が開発、特許の薄グリーンタイプ）をベースとした近赤外線カットがメインで、遠赤外線カットはほとんどカットしない商品でした。薄グリーンタイプで少し塗りムラが発生しやすいため施工訓練を受けた専門指定業者に限定され、さらに多額の加盟金と研修代を NTT-AT グループが取り、施工価格も 1m² 当たり 12,000 円～15,000 円と高いためなかなか普及しませんでした。これに対し、1999 年 11 月近赤外線、遠赤外線カットの ATO をベースとした透明タイプの断熱コート剤を当社が開発に成功し夏場の断熱に限らず、冬の断熱、結露対策にもなる夏冬兼用の断熱ガラスコート剤を完成させました。これにより、誰でも簡単に塗りムラがおきずコートすることができるよう



信頼のブランド

常務取締役執行役員
住環境カンパニー社長
三代 洋右

〒100-0093
東京都千代田区平河町二丁目七番九号
(JA 共済ビル)

謹賀新年

小松電機産業株式会社

代表取締役 **小松 昭夫**

東京 〒105-0013 東京都港区浜松町一丁目一八番一三 高峯ビル五階
TEL 〇三三四三二一三六四 FAX 〇三三四三二一四六五
本社 〒690-0946 島根県松江市大福町七三番一八八 松江湖岸クアーズ内
TEL 〇八五二一三二六三六 FAX 〇八五二一三二六三〇
大阪 〒578-0811 大阪府東大阪市新開二丁目一六番三七
TEL 〇七九一六〇一〇六〇 FAX 〇七九一六七一八七三

になり、価格も1m²当たり6,000円～を可能にしました。2005年2月16日発効の京都議定書CO₂排出削減により世界中で建物の断熱対策に取り組み始めています。スケッチでは、これを受けて2005年9月アトランタのガラスショー、2006年3月北京建材ショー 2006年9月ラスベガスのガラス、ビルドショーに三菱マテリアルと開発したATOを使ったフィルムよりも遮熱性能が良いガラスコート剤を案内しました。日本をはじめ、アメリカ、中国、東南アジアへと販路を広がつつあります。

また、同資料によると、市場にある窓ガラス遮熱製品を大きく分けると3つのグループに分かれる。(注) コート剤製品の欄はスケッチ社の判断による。

窓ガラス製品	フィルム製品	コート剤製品
ペアガラス 熱線反射ガラス 熱線吸収ガラス 熱線吸収ペアガラス Low-E ペアガラス	反射フィルム 透明遮熱フィルム 色付きフィルム	スケッチグループ遮熱コート NTT-AT グループ遮熱コート

省エネ気運で窓ガラスの断熱・遮熱処理は、現在ブレイクしているが、将来的には大型ビルなどでは事業者が屋内を温度管理する時代が来るので、需要が長続きしていくことはありえない。

FUKUVI

代表取締役
長

フクビ化学工業株式会社

八木誠一郎

〒九一八八五八五
福井市三十八社町三三六六
☎〇七七六(三八)八〇〇一

謹賀新年

社取
締
長役

出向井康司

日本トーチエック製造株式会社

大阪本社 〒544-0014 大阪市生野区巽東三丁目十七番十号
電話 〇六(六七五八)一二五一
東京本社 〒110-0012 東京都台東区竜泉一丁目二十七番九号
電話 〇三(三八七二)一四一一

断熱ガラスコートは、簡単に言えば断熱・遮熱コート剤を「窓ガラスに塗るだけ」で効果が出るというもので、施工が容易であり、仕上がりで継ぎ目が出ない、「映り込み」がない、コストが安い、などの特長を持つといわれている。ビル、学校、商業施設、住宅の既存のガラス窓に塗工される。

耐候年数は10年以上と発売元は言っている。

その特殊コート剤は、スケッチ (商品名: HOT ガードシリーズ)、フォーユー (同: アットシールド・クリア)、石原産業 (同: 透明遮熱ガラスコーティング剤)、大光テクニカル (同: エコガラスコート)、アスクリーン (同: クールセーブ)、日本特殊塗料 (同: NTサーモバランス) などが生産している。ほかの発売元はこれらメーカーから供給を受け販売・施工しているはずだ。メーカーの中で市場性のあるところは、スケッチとフォーユーである。

ガラスコート剤のメーカーの中には、当面のライバルである透明遮熱フィルムの短所を、

- ①のりの劣化の為、耐久年数が短い。(遮熱コートの半分)
- ②表面高度がH~2Hの為、傷つきやすい。(遮熱コートの場合4~5H)
- ③コストが高い。遮熱コートの2倍12,000円~15,000円/m²
- ④型板ガラスには施工できない。
- ⑤幅が決まっているので幅広ガラスにはつなぎ目が出る。

と指摘し、透明遮熱フィルムの長所として、

- ①遮熱性能が良い。(SC値参照)
- ②飛散防止効果がある。

の点を強調している。

しかし、これはあくまでもコート剤がうまく施工された場合の話。ガラスコートの専門職人は現状では少なく、失敗のない職人養成が急務とされている。

アスクリーン (東京都) のように、職人の養成・施工指導を主力事業にした施工業者もある。

断熱ガラスコート (剤) の大手メーカーはスケッチとフォーユーの2社である。

スケッチ (東京都) は、2005年頃、HOT ガードシリーズを商品化した。三菱マテリアルの原料を使用し、UVカット率99% (UVカットタイプ) を実現したとしている。販売・施工は子会社、ECOビジネス倶楽部 (東京都) を通じ、全国140社の販工店へ

発揮することだ。同社が従来から進めてきた光触媒事業展開の中で製品化した。材工設計価格を6,300円/m²に設定、塗装系施工代理店、建設会社のルートを通じて販売する。

日本特殊塗料は、未だ自社塗料製品のラインナップに加えていない状況で、営業活動はまだしていない。

ここ数年間のうちに市場参入した発売元の主なところは、ダイフレックス (岐阜県)、大光テクニカル (メーカー: 岐阜県)、インターセプト (岐阜県) などがある。スリーアロー (神戸市) はこのほど倒産した。

ガラスコーティングは概ね次の工程で行われる。

- ①窓ガラス油膜取り作業 (窓面の汚れ、下地清掃作業)
- ②養生及びプライマー (コーティング剤の接着剤)
- ③コーティング
- ④温度測定器 (サーモクロン) の設置

また、施工方法には四つの方法がある。

- スポンジバーコート
- ローラーコート
- フローコート
- スプレーガンコート

スポンジコートは、ノウハウを会得すればきれいに塗れるが、初心者が塗るとムラになる。現状は施工者の約80%がこの方法を用いている。網入りガラスにも塗れる。

ローラーコートは、施工がしやすく、失敗がない。きれいに塗れるが専用ローラーを必要とする。スケッチは100%この方法を採用している。

フローコートは、タレ流して施工する。見た目の仕上がりはきれいである。流れ落ちた液剤の養生が必要で、液剤の歩留まりが大きい。この方法の職人が少ない。

スプレーガンコートは、施工法がむずかしい。室内で施工すると液剤の粒子が飛散する。

建材・住設ニュース

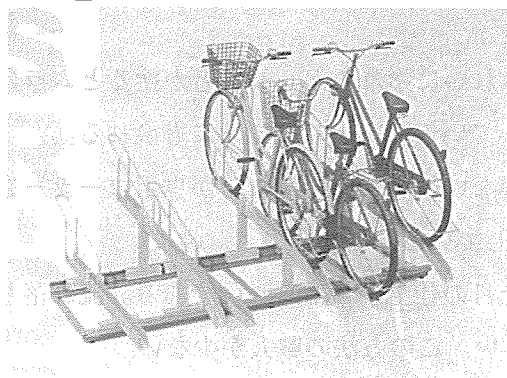
エクステリア

スムーズに出し入れできる

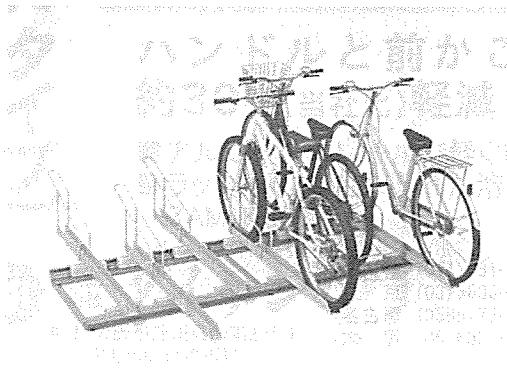
自転車ラック2種発売 ダイケン

ダイケンはラックが左右にスライドして動き、自転車同士の干渉を軽減しスムーズに出し入れできる「スライド式自転車ラック」SR-K・SR-S型の2タイプを2011年12月15日より発売開始した。「スライド式自転車ラック」は隣り合う自転車ラックを左右にスライドさせることでスペースを確保し、自転車の出し入れをスムーズに行うことができる。新商品はハンドルやカゴ同士の干渉を軽減した使いやすい設計で、ラックの高低差を活かし省奥行きを実現し

■SR-K型



■SR-S型



たSR-K型とラックの前後差を活かしたSR-S型の2タイプある。レールはサビに強い高耐食性めっき鋼板を使用。カラーは建物と調和するオータムグレー色。収容台数はそれぞれ6台から収容可能。25kgまでの電動アシスト自転車も収容可能。同社は、スライド式以外に平置き式や2段式ラックなど多彩なタイプがあり、自転車ルーフ（屋根）との組み合わせで販売に力を入れていく。価格例は、SR-K6型（基準型）、6台収容、87,000円、SR-S6型（同）、6台収容、81,000円。

外壁材

イタリア CW 大手の全株式を取得

住生活グループ

住生活グループは2011年12月6日付でイタリアの建材大手パルマステーリザの全株式をルクセンブルクの投資ファンドから約5億7,500万ユーロ（約600億円）で取得した。ビル外壁材やインテリア製品の製造・販売を手掛けるパルマを参加に収めたことで住生活の事業展開は日本を含め31カ国・地域となる。中・高層ビルから超高層ビルまでの規模に応じて、普及品からハイエンドまで全グレードの商材・サービスを供給していく。さらにLIXILが持つサッシやトイレ、室内建材などとパルマのカーテンウォールとのシナジーをはかることでビル関連事業の売上拡大を見込む。パルマの2011年12月期の売上高は約1,200億円の見込みで、住生活の海外売上高は13年3月期に2,500億円と今期見込みの3.8倍に達する見通し。16年3

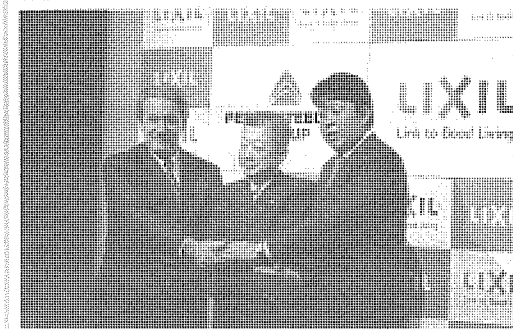
建材・住設ニュース

月期までに海外売上高1兆円を目指す。住生活は8月4日に投資ファンドとパルマ買収で合意した。パルマグループは38年以上の国際的な実績を持ち、世界をリードする建築構造物やインテリアシステムのエンジニアリング、プロジェクト・マネージメント、製造、据付を専門とする建設請負業者。グループは27カ国に約50の会社と13の生産工場を持つ。グループは全てのプロジェクト、特に特殊な建築物に対してそのノウハウと専門知識・技術を提供し、建築構造物の構想提案から据付まで顧客に満足されるフルレンジのサービスを提供している。現在4大陸に5,500人以上の従業員がおり、毎年10億ユーロ以上の売上を創出している。

海外大型ビル用外装材拡販進める

4年後、売上高3,000億円へ

住生活グループの潮田洋一郎会長は、LIXILによるイタリアの建材大手パルマステーリザの買収を機に、海外で大型ビル向け外装材の需要を開拓する考えを示した。パルマ買収で年間1,800億円規模となったビル関連事業の売上高を、パルマブランドによる製品展開などにより2016年3月期には約3,000億円に引き上げる。パルマのニコラ・グレコ最高経営責任者（CEO）は「物流網などをLIXILに統合し、シナジー効果を発揮して事業を拡大する」と語り、グローバル規模で統合効果を追求する姿勢を明らかにした。LIXILはパルマの取締役8人のうち6人を覇権。そのうち3人はイタリアに常駐し、製造拠点の共有など具体的な統合策を詰める。住生活は中国では外壁材メーカーの上海美特幕墙



（上海市）を傘下に持ち、韓国ではLGグループとの合併であるLGシステム（ソウル市）がビル外壁材を製造・販売。今後は各事業会社による物件への入札をLIXILに一元化し、大型物件ではパルマ、小規模物件では上海美特幕墙が入札するなど、物件の規模や内容によって事業会社を使い分ける。

ドア・シャッター

3月からドアなどOEM供給

LIXILへ 三和シャッター

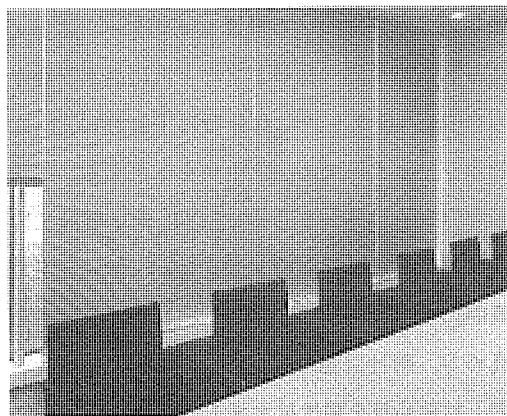
LIXILと三和シャッター工業は、ドアやシャッターなどのOEM供給で合意した。三和シャッターが3月からLIXILに鋼製軽量シャッターや軽量ドアを供給する。LIXILは小規模な商業施設や車庫向けの軽量シャッター、オフィスや商業施設向け軽量ドアなど汎用品を三和からOEM調達する。これを機に子会社のLIXIL鈴木シャッターでの一部生産を休止する。三和シャッターは全国6工場でLIXIL向け製品を製造する。同社は鋼製のドアやシャッターを主力商品にしており、OEM供給で工場の稼働率を高める。両社は他の商品のOEM供給も協議中で、対象品目を順次拡大する方針。

建材・住設ニュース

インテリア

ユニタッチ 25 高遮蔽タイプ新発売 ニチペイ

ニチペイは、2012年1月16日に高遮蔽ワンコントロール自動降下よこ型ブラインド「ユニタッチ25高遮蔽タイプ」を新発売した。ユニタッチ25高遮蔽タイプは、コードを引くだけでブラインドがゆっくり降下、もう一度引けば停止するシンプル操作機能を搭載し、ニチペイ独自の昇降コード穴のない25ミリ幅スラットの採用で高い遮蔽性を実現した。一般スラットに比べ高い日射反射性能を持つ遮熱スラットや、遮熱スラットにフッ素コートや酸化チタンコートをした高機能スラットに対応する。これにより、一般のブラインド（ユニタッチ25）と比較して、日射遮蔽性能（日射熱取得率）は20%以上アップ、断熱性能（熱抵抗値）は70%以上アップ。高い省エネ効果を発揮する。操作は昇降と調光が1本のコードでできるワンコントロール方式。後ろのコードを引くとゆっくり降下、手前のコードを引くと停止する。昇降コード穴のないスラットで、高い遮蔽性を実



現した。さらに、一般スラットに比べ高い日射反射性能を持つ遮熱スラット42色や、遮熱スラットにフッ素コートや酸化チタンコートをした高機能スラット、各15色に対応する。スラットの重なり幅も5ミリと大きくなった。さらに省エネ性能と遮蔽性能が高まるフレーム（両サイドと下部の三方枠）仕様もある。昇降コードがないので、スラット交換が簡単に行える。製作可能寸法は幅（W）80～400cm、高さ（H）51～351cm、面積（ m^2 ） $8m^2$ 。色数は72色。価格は遮熱スラット、13,500円/ m^2 （フレームなし）、22,700円/ m^2 （フレームあり）。酸化チタンコート遮熱スラット・フッ素コート遮熱スラット、14,800円/ m^2 （フレームなし）、24,000円/ m^2 （フレームあり）。

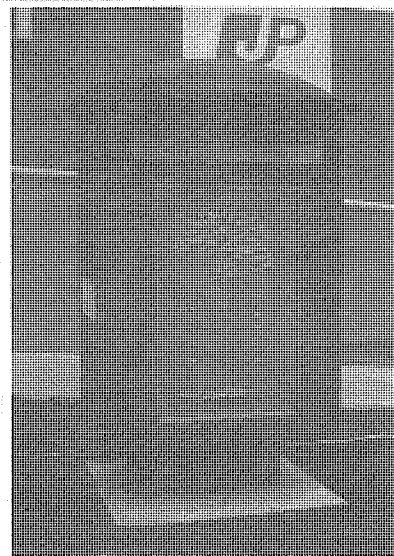
※ 価格には消費税・取付施工費は含まれない。
※ 1台あたりの最低積算面積は $2m^2$ 。

シャッター

「復興祈念ポスト」郵便事業会社へ寄贈 「奇跡の一本松」モチーフ 三和タジマ

三和ホールディングスの連結子会社三和タジマは、東日本大震災により未曾有の大災害に見舞われた被災地の一日も早い復興を祈念し、甚大な被害を受けた陸前高田市にある郵便事業会社東北支社陸前高田支店に「復興祈念ポスト」を寄贈した。被災した方々がこの「復興祈念ポスト」に手紙やはがきを投函する度に少しでも元気になるよう、また、手紙やはがきに込めた優しい思いが差し出される人から受け取る人へ伝わるようにとの願いを込めて、国の名勝「高

建材・住設ニュース



復興祈念ポスト

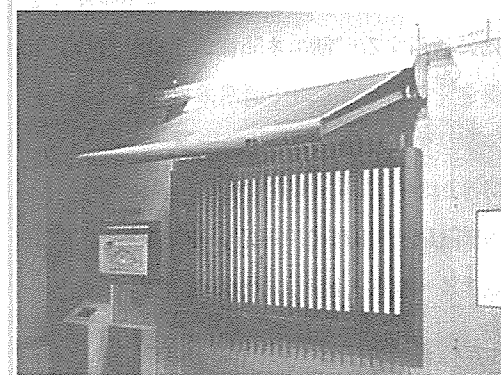
田松原」に唯一残った「奇跡の一本松」と、宮沢賢治の詩「雨ニモマケズ」をポスト表面に配した。「雨ニモマケズ」の引用については岩手県花巻市にある株式会社林風舎宮沢和樹さんより資料提供の協力と賛同を受けた。ポスト本体には、従来より三和タジマと繋がり深い岩手県奥州市で鍛造された南部鉄が使用された（レリーフ部はアルミ製）。また、ポスト上部のデザインは「日の出」をイメージしており、今日よりも明るい明日が訪れることへの願いと、このポストに春夏秋冬、街の復興を見守って欲しいという祈りが込められた。

エクステリア

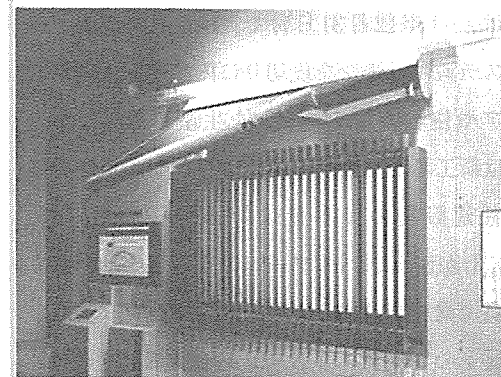
新たな“ソーラーエクステリア”提案
「東京モーターショー2011」へ出展
積水ハウス、文化シャッター、三菱化学

積水ハウス、文化シャッター、三菱化学は、

「第42回東京モーターショー2011」の積水ハウス出展ブースにおいて、シート材に“フィルム型太陽電池”を採用した新開発の「次世代型住宅用オーニング」により、新たな“ソーラーエクステリア”を提案した。積水ハウスは、2011年12月2日から12月11日まで東京ビッグサイトで開催した東京モーターショーに住宅メーカーとして初出展し、太陽電池・燃料電池・蓄電池の3電池を組み合わせた「グリーンファーストハイブリッド」による“究極のエネルギーフリー”の実現と、EV（電気自動車）を加えた先進のスマートハウスの提案を行った。



東京モーターショーに出展
「次世代型住宅用オーニング」



日射の方向に合わせて
変形が可能

建材・住設ニュース

また、3電池連動システムを制御し、「省エネ」「創エネ」「蓄エネ」を最適活用するオリジナルのHEMSを展示するほか、自然エネルギーを活用することで日射調整しながら発電を行う“ソーラーエクステリア”についても展示した。積水ハウスが提案する“ソーラーエクステリア”の実現にあたり、三菱化学の“フィルム型太陽電池”をシート材として採用、積水ハウスと文化シャッターグループのテンバルは、「次世代型住宅用オーニング」を共同開発した。このオーニングは、本来の“日よけ”機能によって省エネ・節電効果を発揮するだけでなく、フィルム型太陽電池によって発電したエネルギーを有効に活用する“創エネ”機能を併せ持つ。

LIXIL ニュース

「リクシルハイアール」昨年末設立 内装・ドア・サッシを生産

LIXILは、中国家電大手の海爾集団（ハイアール）と中国での生産合弁会社麗住海爾（リクシルハイアール）（青島市）を設立した。設立は2011年12月31日付で、LIXILブランドのシステムキッチンを生産する。12年夏には新工場も稼働する予定。リクシルハイアール住建設施の資本金は約25億4,200万円で、LIXILが51%、ハイアールの生産子会社である青島海爾厨房施設が49%出資した。月産7,000セットのシステムキッチンの生産能力を持ち、従業員数は約490人。ハイアールと合弁で設立した内装設計会社の海驪建築装飾設計（上海

市）とも連携するほか、ハイアールが中国に持つ物流拠点も活用。商品開発から、製造、内装設計、施工まで一貫した事業基盤を構築する。

LIXIL ニッタンをセコムへ売却

住生活グループは消防用設備の機器販売などを手掛ける完全子会社のLIXILニッタンを4月1日付でセコムに売却する。127億円でLIXILニッタンの発行済み株式全株を譲渡する。セコムとの防災分野での事業提携の一環。消防用設備事業の充実を目指すセコム側、住宅用機器などに経営資源を集中したい住生活側の思惑が一致した。住生活Gは2005年にニッタンを買収し、LIXIL傘下で事業を展開してきたが、11年8月にセコムと防災分野での提携を結んだこともあり、セコムへの譲渡を決めた。今後もLIXILニッタンとの取引関係は続けるという。一方、セコムは火災報知機の設置など防災事業の強化を目指している。子会社に同様の消防用設備の機器販売子会社能美防災を持っているが、今回の買収でこの分野をさらに強化する。既存の建物の建て替えなどで火災報知機や消防用設備などの需要が拡大すると判断した。

LIXIL グループが日本政策投資銀行 「環境格付融資制度」の最高ランクを取得

住生活グループおよび傘下の全事業会社からなるLIXILグループは、日本生産投資銀行（以下DBJ）が実施する「環境格付融資制度」において、最高ランクの格付を取得した。この制度は2004年に創設され、これまで優良上場企業

建材・住設ニュース

が活用している。「DBJ環境格付」は、DBJが開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化、優れた企業を選定し、融資を行う制度。同社は、環境への配慮に対する以下の点が特に先進的として評価され、融資を受けることになった。

- ①自社の事業による生態系への影響をアセスメントし、生物多様性に関する具体的な展開を進めている点
- ②他社製品を含めた住宅リフォーム廃材の再資源化を推進している点
- ③国内拠点でのCO₂排出量削減に向けた高い目標を掲げ、生産効率改善等を推進している点
- ④メガソーラー等、再生可能エネルギーの導入を積極的に推進している点
- ⑤多彩な環境配慮製品を開発および展開している点

“LINK TO THE EARTH”をテーマに、 『エコプロダクツ 2011』 出展 LIXIL

LIXILは、昨年12月15日～17日に東京ビッグサイトで開催された「エコプロダクツ2011」に“LINK TO THE EARTH”をテーマにした、暮らしと地球の調和を目指す環境技術を展示した。テーマは①ダブルスキン（二重の外壁とその間の緩衝空間によって建物の温熱環境を向上させる手法）②サーモス（ガラス部分の断熱性能を高め、さらにガラス面そのものの面積を拡大することで、開口部の断熱性能を向上させる）③ベルベット・フォーム（泡技術によるライフスタイルの提案）④再生可能エネルギーや新エネルギーの導入（ソーラーシステム、排熱

回収利用、未利用熱から電気をつくる事業の同社5工場における実証場面）⑤リサイクル設計やリサイクル技術の研究開発。同社の取り組み状況をパネル説明、実物展示、製品やサービスを紹介した。

「サティス de エコキャンペーン」開催

LIXILは、復興支援・住宅エコポイント付与の対象製品として人気のINAXブランドのタンクレストイレ「サティス」の更なる普及促進を目的に、「サティス de エコキャンペーン」を2012年1月5日から2012年3月31日まで開催する。「サティス de エコキャンペーン」は、キャンペーン対象期間中に「サティス」を購入し、インターネット上の専用ページから応募した人の中から、抽選で期間中に総勢210名に国内幽明ホテル・旅館ペア宿泊券や全国各地のグルメギフトなどの豪華商品をプレゼントする。

タイの洪水被害へ義援金

LIXILは、タイで発生した洪水による被災地・被災者の支援を目的とする義援金1,000万円を12月28日在京タイ王国大使館に寄付した。また、11月28日には、LIXIL労働組合からも義援金50万円を寄付している。

「窓 de エコキャンペーン」開催 LIXIL

LIXILは、復興支援・住宅エコポイント付与の対象商品として人気のトステムブランドの防音・断熱内窓「インプラス」のさらなる普

建材・住設ニュース

及促進を目的に、「窓deエコキャンペーン」を2011年12月1日から2012年3月31日まで開催している。「窓deエコキャンペーン」は、キャンペーン対象期間中に「インプラス」を購入し、インターネット上の専用ページから応募した人の中から、抽選で毎月90名・合計360名に、電動自転車やサイクロン掃除機、シャープの加湿空気清浄機、川島織物セルコンのインテリアラグなど、環境や健康に配慮した快適な暮らしをサポートする豪華商品をプレゼントしている。当選発表は抽選の上、2012年1月から2012年4月の毎月中旬頃にメールアドレスに通知する。ホームページでも住所、氏名を掲載する。

シャッター

アルティメット日本代表が優勝

文化シャッター (バズ・バレッツ) 編成チーム

文化シャッターのアルティメット競技実業団チーム「文化シャッターバズ・バレッツ」のメンバーで編成された日本代表チームが、昨年12月1日から12月4日までチャイニーズタイペイ (台湾・高雄市) で開催されたWFDF2011アジアオセアニアアルティメット



チャンピオンシップ (AOUC) のオープンの部において優勝した。AOUCハ、アジアおよびオセアニアにおけるアルティメットNo.1を決める大会で、オープンの部には日本、台湾、シンガポール、インドの総勢4チームが出場した。3日間に互って行われた予選は、各チーム2回ずつの総当たり戦で行われ、日本代表チームは6戦全勝で決勝に駒を進めた。そして、最終日に行われた決勝戦では、地元チャイニーズタイペイを相手に17対7で勝利し、日本代表チームは金メダルを獲得するとともに、試合マナーが良く、紳士的なプレーに徹したチームに送られる「Spirit of the game賞」も受賞した。「バズ・バレッツ」は、2009年にカナダで開催された国別代表チームの世界一を決める第12回世界アルティメット選手権大会において、日本代表チームの中心メンバーとして銅メダルを獲得した。第13回世界アルティメット選手権大会は、2012年7月7日から14日まで、大阪府堺市のJ-GREEN堺で開催される予定となっており、前回と同様に編成された日本代表チームとして、悲願の金メダル獲得をめざす。

外壁材

窯業系外壁材、5柄21色新発売

ニチハは、窯業系外壁材の新商品として、このほど「モエンエクセラード16」の5柄21色を新発売した。木目調をはじめ、コーディネートしやすい豊富なカラーバリエーションの充実をはかった。木目意匠 (キャストイングウッド) は年輪を重ねた木が造りだす迫力を表現した。

建材・住設ニュース

建産協

建産協、「カタラボ」報告

日本建材・住宅設備産業協会が運営する、建材と住宅設備のデジタルカタログサイト「カタラボ」の会員企業数は、昨年末で正会員201社、賛助会員30社、合計231社となった。2011年11月度のアクセス数も1,400万ページビューを超えた。昨年9月15日からは①ペンツール機能、②付箋機能改善、③メモ/付箋の印刷対応、④切り抜き機能の改善 (見開き制限の解除)、⑤文字コピー機能の追加、を新機能として負荷した。

建産協

「瀋陽交流ミッション報告」国際委員会

建産協

(社)日本建材・住宅設備産業協会が、本年度新たに立ち上げた国際委員会では、我が国の安全性、省エネ性、省資源性、及び耐震性に優れた、いわゆるグリーン建材・住宅設備機器のアジア市場での普及促進を図るため、企画・調査部会及び交流部会の二部会を設けた。交流部会の活動の一つとして、会員に対するアンケート、経済産業省との意見交換を経て、いま最も活況を呈している中国、中でも今後最も発展が期待される地域の一つである、東北地域3省の中心である瀋陽市にミッションを派遣することとし、平成23年11月22日～25日に実行した。ミッションはメーカー8社、経済産業省、建産協か

価格は7,245円/枚。繊細で知的なキューブ柄 (コシユカ)、大地から削り出された鋭い割石を表現した (クレミナウォール調) は、価格6,615円/枚。素朴で暖かみのあるデザインが放つ、アンティークな風合い (マイスターウッド調V)、シンプルで端正なデザイン (セリオスタイルV) の価格は5,670円/枚。

外壁材

メンテと製品保証のリーフレット発行

施主向けに 日本金属サイディング工業会

日本金属サイディング工業会は、金属サイディングのメンテナンスと製品保証の概要をまとめたリーフレット「金属サイディング・メンテナンスのご案内と製品保証について」を昨年11月に制作し、元請会社等に配布した。金属サイディングは施工性、意匠性、断熱性、防火性等多々優れた性能・品質を持つ外壁材だが、正しい施工のもと点検とメンテナンスを実施し長期間美しい外観と性能を維持するためのメンテナンスと、金属サイディングの製品保証の仕組み・概要を施主に広く正しく理解してもらうために、これらの内容をリーフレットにまとめ配布することになったもの。同リーフレットでは、①経年変化について、②メンテナンスについて (必要性、目安)、③製品保証のしくみと概要 (金属サイディング製品保証のしくみ、製品保証の概要) を記載した。

建材・住設ニュース

ら16名で構成された。瀋陽市政府、学識経験者による建材市場、建材基準、品質等の講演では、今後解決すべき問題点が具体的に把握できた。瀋陽市市庁を表敬訪問し、黄凱副市长ほか7人と面会した。進出日系企業、現地建材関係民間企業を訪問した。日本・瀋陽建築業界合作交流会を開催した。車中より瀋陽市中の開発商業地区、現代建築産業パークなどを視察した。

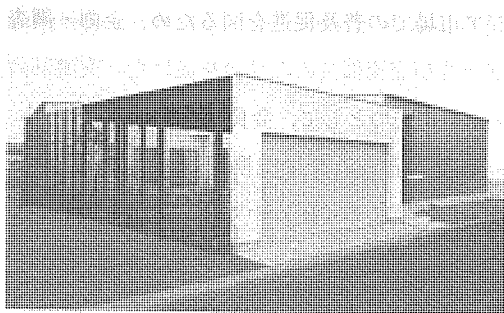
エクステリア

「第18回施工作品コンテスト」審査結果発表 四国化成

四国化成工業は、全国の販売工事店ならびに設計事務所を対象とした「第18回施工作品コンテスト」(応募期間:2011年7月1日~8月31日)を実施し、その審査結果を発表した。同コンテストは、一般住宅、店舗、官民各施設の外構および内装など、幅広い製品ジャンルを取り扱う同社ならではの多彩な施工作品が集まるコンテストで、全国から1,564点の応募があり、この内、

■各部門の最優秀賞(例)

住宅部門 最優秀賞



受賞者:(株)ブラン・リーブル
現場名:個人邸(香川県)
採用商品:グリーンシェード

地区審査を通過した作品の中から各分野の専門家による厳正な審査の結果、各部門の最優秀賞、優秀賞、全国入選など計48点の入賞作品が決定した。入賞作品は、同社ホームページ (<http://kenzai.shikoku.co.jp/>) から見る事ができる。審査員:金沢美術工芸大学教授 工学博士 坂本英之氏、薩田建築スタジオ 建築家 薩田英男氏、造景空間研究所 所長 藤山茂氏

住設機器

23年10~12月出荷前年同期比104% 24時間風呂協議会

24時間風呂協議会集計による23年度第3四半期(10月~12月)の24時間風呂出荷台数は4,273台、前年同期比104.45%と微増した。その理由は、販売キャンペーン実施による影響、季節要因による増加、東日本大震災の復旧が進みつつあり、部品調達遅れが解消傾向にあるため、などによる。しかし、24時間風呂市場はいぜんとして低迷状態にある。

インテリアで暮らしを良くしていく 仲間をインテリア関連企業に……

公開プレゼン開催 町田ひろ子アカデミー

町田ひろ子アカデミーは、昨年12月6日、サントリーホール・ブルーローズ(東京港区)にて、「公開プレゼンテーション2011」を開催した。同プレゼンテーションは、同校卒業生を企

建材・住設ニュース



業へ橋渡しする就活の一環として毎年実施してきており、今年で26回目となる。

今回は、インテリア・住関連企業100社、161名が出席。在校生200名、その他一般合わせて430名の出席は満席となった。

公開プレゼンテーションは“Interior de Dietをトレンドにする”~わが家のグレートルーム~を課題に、インテリアコーディネーター専門科4クラス、全日制2クラスの6グループが、リサーチ・企画・図面・パース・スピーチ力等の総合力を発揮し、日頃の実践に即した授業の成果を競い合った。

それぞれのグループは、家族の絆のみならず友人、知人、近隣とのコミュニケーションが生まれる新たなライフスタイルの提案と、多種多様な収納工夫がされた新製品を発表した。

いずれの提案グループもちょっと実践でみがかくと、即戦力となる人材であると、参加企業は評価し、同校卒業生の就職率90%強という裏付けとなっているといえる。

なお、来年35周年を迎える同アカデミーは、今までに15,000名のインテリアコーディネーターを送り出してきており、現在6校ある在校生は、400人、内東京200人で、その内3分の2が卒業を迎えることになる。

なお東京校では、求人予定のある企業に対して「企業説明会」を、12~3月まで開催している。☎03-5411-0056。

震災により変化した社会ニーズに対応する 最新製品や情報発信!

「街づくり・流通ルネサンス2012」開催

“街づくり・流通ルネサンス2012”総合展(「JAPAN SHOP」「建築・建材展」「リテールテックJAPAN」「NFC & Smat WORLD」「SECURITY SOW」「LED NEXT Stage」「フランチャイズ・ショー」)の7つの展示にて2012年3月6日~9日の4日間、東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催される。(フランチャイズショーは8日までの3日間のみ)

今回で20回目となる総合展の内「LED NEXT Stage」では、LED照明の導入メリットを“見て感じる”展示を通じて「省エネで快適な街づくりに役立つヒントを提案する」としている。また、「建築・建材展」では、耐震や省エネ・創エネ関連の建材・システムを集めたゾーンを拡充するとし、さらに「JAPAN SOP」では、震災後にオープンした、注目の商業施設やショッピングモール、店舗の未来像を探るセミナーを企画するなど震災や社会情勢により変化した、様々なニーズに対応する最新製品・情報を発信する場にしたいと準備をすすめている。

会場は、東京ビッグサイトの東西全館を使用し、1,208社・3,349小間(12月15日現在)で開催予定。

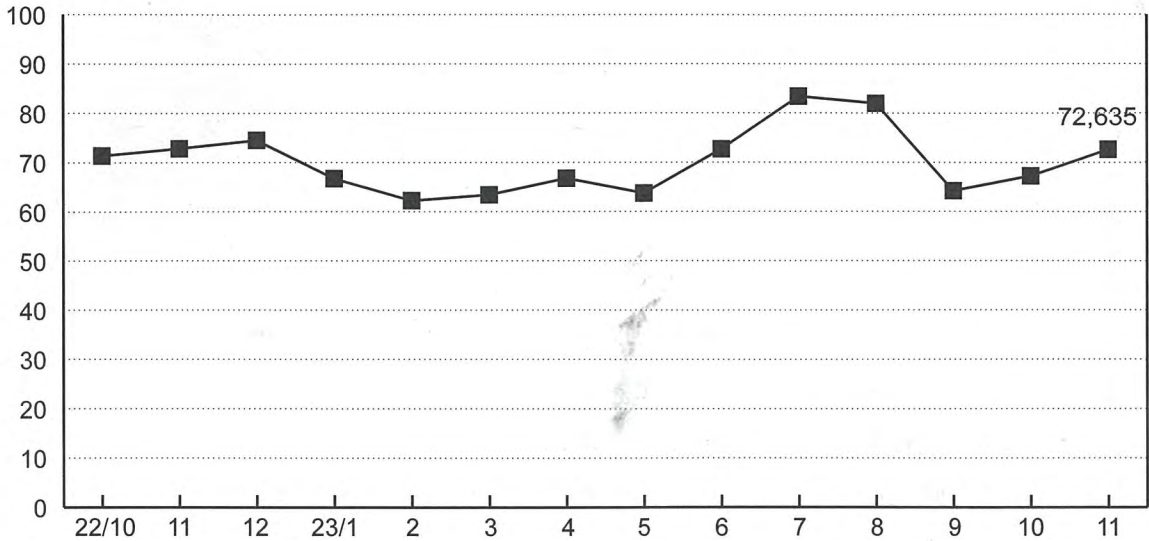
建築着工推移

(出所) 国土交通省

住宅着工計

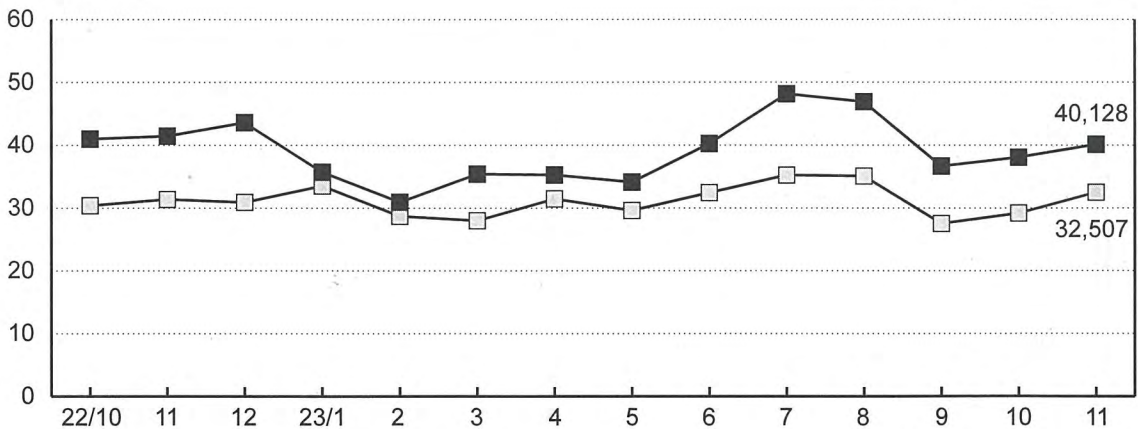
○新設住宅計

(戸)



○構造別

(戸 木造■ 非木造□)



MITSUBISHI
三菱電機
Changes for the Better

さらに充実!改正建築基準法に対応した
〈24時間換気〉ラインアップ。

業務用途におすすめ

●店舗・事務所に

〈ダクト用換気扇〉 〈中間取付形ダクトファン〉

ピッタリの24時間換気、
三菱なら、
きっとみつかります。

住宅用途におすすめ

○居室・トイレ・浴室に (パイプ用換気ファン) (ダクト用換気扇)	○居室・寝室に (換気天井機ロスタイ)	○浴室に (バス乾燥・暖房・換気システム)	○1システムで家全体を24時間換気 (エアフロー環気システム) (ロスタイセントラル換気システム)
---------------------------------------	------------------------	--------------------------	---